令和6年度 決算特別委員会 総会質疑

人に優しい！人が中心！
『歩行者の利便性向上につながる道路整備のあり方』について提言！

歩行者空間の拡大について

「歩行者天国」を実施しやすい環境整備に向けて！

▲決算特別委員会・総会質疑の様子

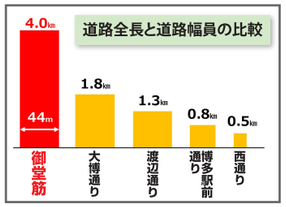
福岡市は令和5年度から**「歩行者利便増進道路制度（通称：ほこみち制度）」**を導入して、市内各地で歩行者天国を実施できるような取り組みを行っています。この制度の利用が広がれば、街の賑わいづくりが一層促進されます。

今回の総会質疑では、この「ほこみち制度」が市内でほとんど活用されていない実態を指摘。**「歩行者天国の実施拡大に向けて、商店街団体や自治会・町内会に対して制度の説明や実施に向けた支援を行うべき」**という提案に対して、当局は**「新たに出前講座のテーマとして追加するとともに、商店街関係者に制度の趣旨を説明していきたい」**と前向きに答弁しました。

歩行者空間の拡大に向けて積極的な「減車線化」を！

みなさんは**「減車線化」**という言葉をご存知ですか?「既にある道路の車線を減らすことで車道部分を狭くすること」を指しますが、実際に本市でも『はかた駅前通り』を5車線から3車線に減らして創出される空間を活用し、歩道の拡幅や自転車レーン設置を行なっています。**歩行者空間の更なる拡大をめざして、このような取り組みを積極的に推進すべきである点を要望しました。**

また、大阪市の**『御堂筋将来ビジョン』**に関する取り組みを紹介。全長4㎞、道路幅員44mという大きな道路を歩行者専用道路化するという意欲的な事業です。本市でも、主要な道路でこのような取組みを実施すべきです。

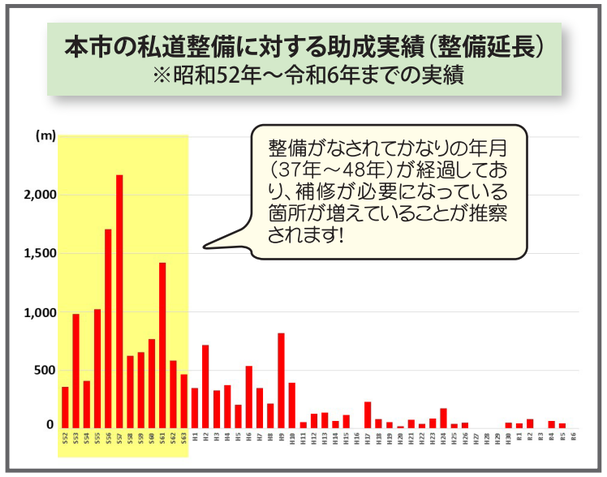


私道の整備と維持管理の促進について

私道の新規整備に対する助成金執行額は「ゼロ」！

本市は、個人や法人、団体などが所有・管理している道路（＝私道）に対して、一般交通の用に供されていることを条件として、アスファルト等で新規整備を行う場合に限って整備費用の1/2を上限に助成金を交付しています。今回の総会質疑でこの助成事業の昨年度（令和6年度）の執行額を確認したところ、なんと「ゼロ」円であることが明らかになりました。これは、**助成の要件が「新規の整備に限る」としているおかげで使い勝手が悪いということに加えて、特に都心部においては地権者の合意形成を図ることが非常に難しくなってきているという点が要因**です。

右の棒グラフは、「本市の私道整備に対する助成実績」について、その整備延長を年度ごとに示したものです。ご覧の通り、昭和年代に整備が集中していることが分かります。**「本市の私道整備に対する助成の目的に則り、私道の新設だけではなく、今後は補修・修繕に対しても助成が行われるべきである」**と訴え、現在の要綱の改正を求めました。

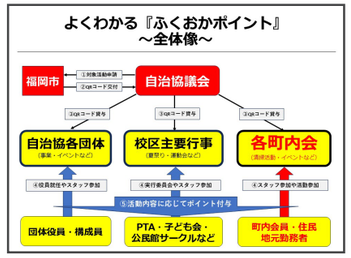


「ふくおかポイント」の普及促進について

自治会・町内会を巻き込むための工夫を！

ポイントを付与する対象事業としては、**①自治協各団体が主催するイベント、②夏祭りや運動会などの校区主要行事、③各町内会が主催する行事、の3分野**があります。この中でも特に、今後ふくおかポイントを盛り上げていくためには**「いかに自治会・町内会（＝地域住民）を巻き込んでいけるか?」**が鍵となります。

今回の質疑では自治会・町内会の参加を促す支援の一つとして「特典の充実」について提案。ポイントを使って**地元商店街で買い物ができるようにする、あるいは特定のポイントを貯めれば商店街加盟店の提供する商品と交換できるようにする**などの点について検討すべきと要望しました。



▲ふくおかポイントの全体像とその仕組みについて

屋台の魅力向上について

子どもたちにも身近な「屋台」を目指して！

今年の6月、南区の弥永西小学校の6年生児童に対して**『よかたい!屋台!福岡市屋台基本条例について』**というテーマで特別授業を実施する機会を得ました。今回は、この時の授業を通じて寄せられた児童たちからの意見や要望を踏まえて質疑に臨みました。

「日中でも子どもが屋台に行ける、屋台に触れられる機会をもっと増やしてほしい」という児童からの声を受けて、**「出前屋台やお昼間屋台など、子どもたちがより屋台に親しみを持てるような取り組みを検討できないか?」**と提案。当局からは**「日中に開催される地域イベントに出店している屋台営業者もおり、その際にやり取りする中で屋台営業者にも働きかけていく」**という積極的な答弁を得ました。当局の今後の取組みに大いに期待したいと思います。

▲小学6年生に特別授業をする様子@弥永西小学校

自治協議会共創補助金の拡充について

校区人口を踏まえた「補助金の拡充」を求める！

本市はこれまでも幾度かにわたって、自治協議会単位の活動を支援するために**「自治協議会共創補助金」**の制度を拡充してきました。しかし、各校区における補助金の執行状況（100%）と近年の校区人口の推移、さらにはその人口を基準とした現在の補助基準に目を向けると、**現在の補助基準が校区の人口・校区の活動実態と大きくかけ離れてきている**ことが明らかになりました。

▲総会質疑で発言する田中しんすけ

今のままでは、人口が多い校区ほど財政的に厳しい状況にあることから、**「より校区の人口や活動実態に近い補助金額となるよう、補助基準を見直すべきである」**点を強く要望しました。

姉妹都市交流の促進について

海外都市への「派遣学生数の拡大」に取り組むべき！

今年の8月、**福岡・アトランタ姉妹都市締結20周年**を記念する公式行事に参加するため米国アトランタ市を訪問する機会がありました。今回の質疑ではその経験を基に、**①市内高校生を両市に一定期間相互に派遣する青少年交流事業（今回は合計14名を派遣）を拡大すること、②市内大学が実施している海外大学との交流についても支援を行うこと、という2点**について要望しました。

派遣の数を増やすためには「ホームステイ先を確保することが重要」との答弁を受け、「日系在アトランタ企業や各種団体を巻き込み、ホームステイ先を拡大すべき」と提案。また、大学同士の交流については**「大学のニーズを踏まえて支援していく」**という前向きな答弁を得ました。

▲福岡大学とケネソー州立大学の協定締結にも立ち合いました!

福岡市議会・福岡市民クラブ

第14回「議会活動報告会」を開催しました！

今秋、恒例となっている福岡市議会・福岡市民クラブ主催による「議会活動報告会」を開催しました。この報告会、昨年からは3日程・3か所（今回は東区・南区・西区）に分けて開催していますが、今年も3か所合計で500名を超える多くの市民の方々にご参加いただきました。

田中しんすけは10月17日（金）にアミカス（南区高宮）にて開催された報告会に説明者として参加、質疑応答の際には市議会や市政に対する質問・要望をたくさん頂戴しました。寄せられたご意見やご要望については、本年12月に行なう市長に対する予算要望の中に盛り込んでいきます。引き続き、私たち福岡市民クラブの取り組みにご注目ください!

▲会派の取り組み状況について報告する様子@アミカス

暮らしの相談、何でも承ります。
お気軽に事務所にお立寄りください。

田中慎介 プロフィール

1978年6月14日生（47歳）

西高宮小学校	卒業	1991年	早稲田大学大学院	修了	2004年
西南学院中学校	卒業	1994年	アクセンチュア（株）	入社	
筑紫丘高等学校	卒業	1997年	福岡市長選挙 立候補		2022年
九州大学法学部	卒業	2001年	福岡市議会議員（5期目）	当選	2023年

田中しんすけ市政相談所
〒810-0014 福岡市中央区平尾5-4-36 2F
TEL:092-521-3650 FAX:092-521-5221
E-mail:info@tanakashinsuke.jp

私の思いや日々の活動を LINE@ で配信中
登録お願いします!